

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2023年6月)
—失業率は6.4%の低水準で横ばい

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

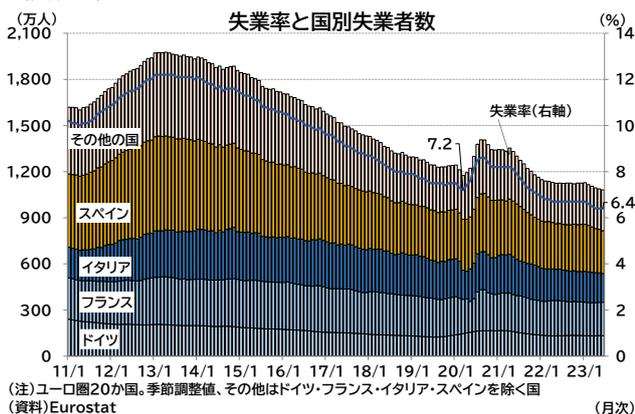
1. 結果の概要:失業率は6.4%で横ばい

8月1日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

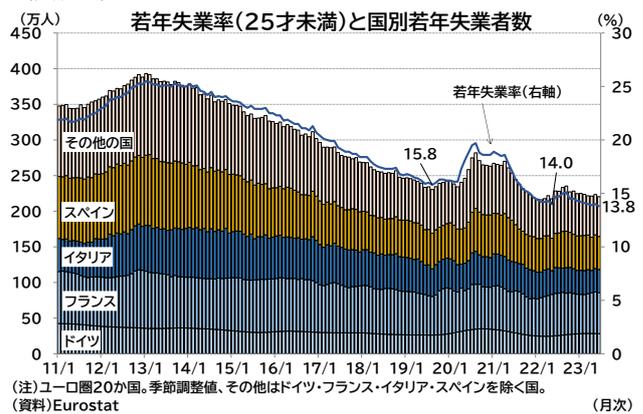
【ユーロ圏失業率（20か国、2023年6月、季節調整値）】

- ・失業率は6.4%、市場予想¹（6.5%）を下回り、前月（6.4%）から横ばいだった（図表1）
- ・失業者は1081.4万人となり、前月（1087.6万人）から6.2万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:若年失業率は最低値を更新

ユーロ圏（20か国）の6月の失業率は6.4%で、4月（6.4%）以降は統計データ公表以来の最低値で推移している。なお、過去データは3月以降の数値がやや改善方向に修正された（5月改定前6.5%→改定後6.4%、4月6.5%→6.4%、3月6.6%→6.5%）。

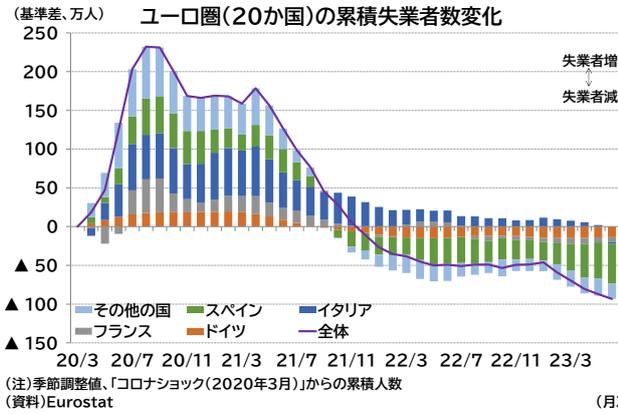
失業者数は6月の前月差で6.2万人減となり、22年2月以降5か月連続で減少した（図表3・4）。主要4か国では、イタリア（▲4.4万人）とスペイン（▲4.6万人）では失業者が減少、ドイツ（+0.2万人）とフランス（+0.3万人）では増加した。ただし、ドイツやフランスでも増加幅は限定的だった。

6月の若年失業率は13.8%で、5月（14.0%）から低下し、コロナ禍後の最低値を更新した（図表2）。なお若年失業率の過去データは5月分がやや悪化方向に修正された（13.9%→14.0%）。

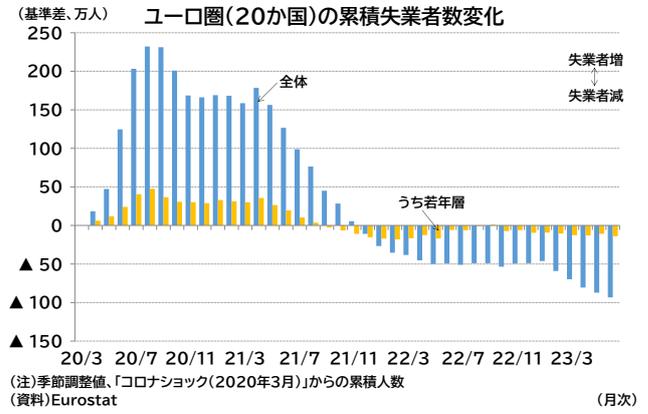
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

若年失業者数は6月で220.4万人（前月差▲3.1万人）となり、5月（前月差+2.2万人）から減少に転じた。若年失業者数はコロナ禍後の最低値（216.1万人、22年2月）を上回る状況ではあるが、コロナショック直前の水準は下回っている（図表4）。

(図表3)

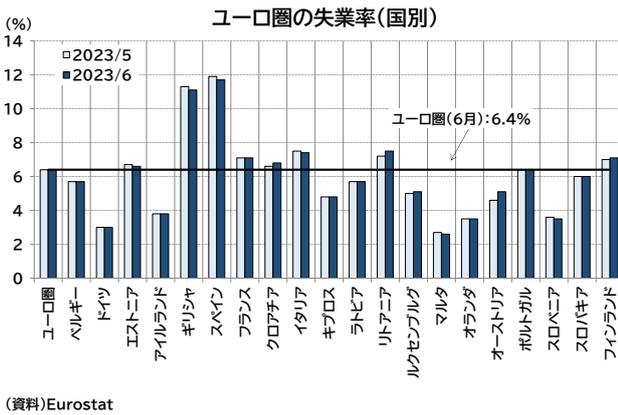


(図表4)

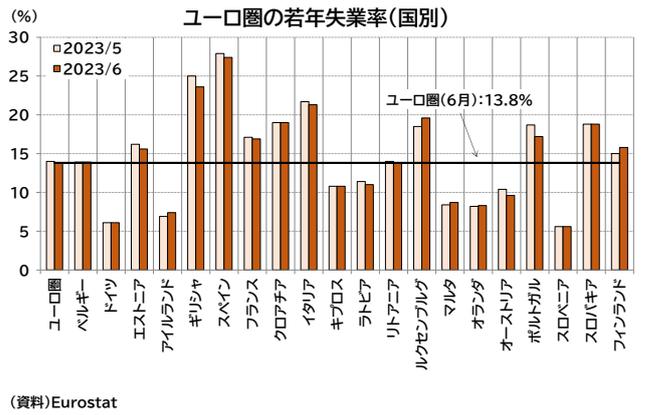


国別の6月のデータを見ると、失業率はデータが公表されている20か国中、悪化した国が5か国、改善が6か国、横ばいが9か国だった（図表5）。また、若年失業率は悪化した国が5か国、改善が9か国、横ばいが6か国だった（図表6）。

(図表5)



(図表6)

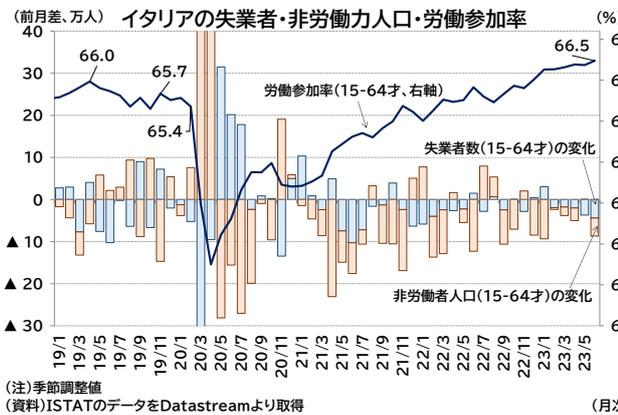


(資料)Eurostat

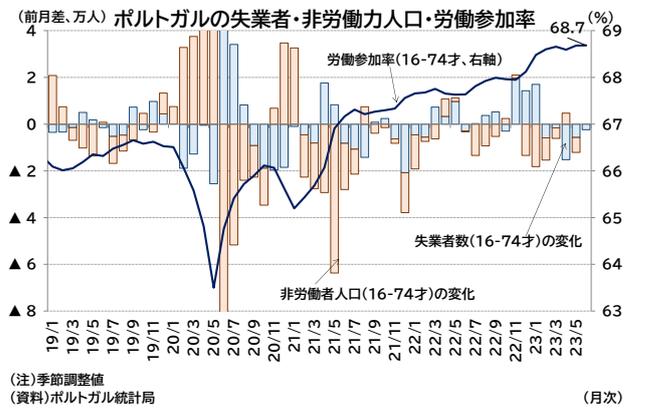
(資料)Eurostat

最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者と非労働力人口が減少、就業者が増加した。労働参加率の緩やかに上昇傾向も続いている（図表7）。ポルトガルも失業者が減少し、非労働人口は横ばいで就業者が増加した。非労働力人口も高い水準で推移している（図表8）。

(図表7)



(図表8)



(注)季節調整値 (資料)ISTATのデータをDatastreamより取得

(注)季節調整値 (資料)ポルトガル統計局

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保證するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。